

平成 27 (2015) 年さけます来遊状況 (第 5 報 : 11/30 現在)

4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産総合研究センター

北海道区水産研究所 さけます資源部

- 全国の 11 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2011 年級) は前年を上回るが、5 年魚 (2010 年級) は前年を下回り、1994 年以降では 2 番目の低水準
- 北海道の日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、4 年魚が 1994 年以降の平均的な水準を上回るが、5 年魚は日本海側及び太平洋側 (根室～えりも以西海区) とともに 1994 年以降の平均的な水準の 5～6 割
- 本州の太平洋側では、4 年魚が前年を上回るが、5 年魚は 1994 年以降で 2 番目の低水準
- 本州の日本海側は 4 年魚が 1994 年以降で 3 番目に多く、3 年魚及び 5 年魚も来遊が良好
- 北海道のサケの平均重量は 3.43kg で、前年同期と同水準

・サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、11 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2011 年級) が来遊数の 67% を占めて最も多く、5 年魚 (2010 年級) 及び 3 年魚 (2012 年級) がそれぞれ 24% 及び 5% でそれに続きます。4 年魚は前年同期 167%、平年同期 90.1% ですが、5 年魚は前年同期 54%、平年同期 50% と、1994 年以降の来遊数との比較では 2 番目に少ない状況です (図 1)。3 年魚も前年同期 67%、平年同期 51% と少ない状況です。

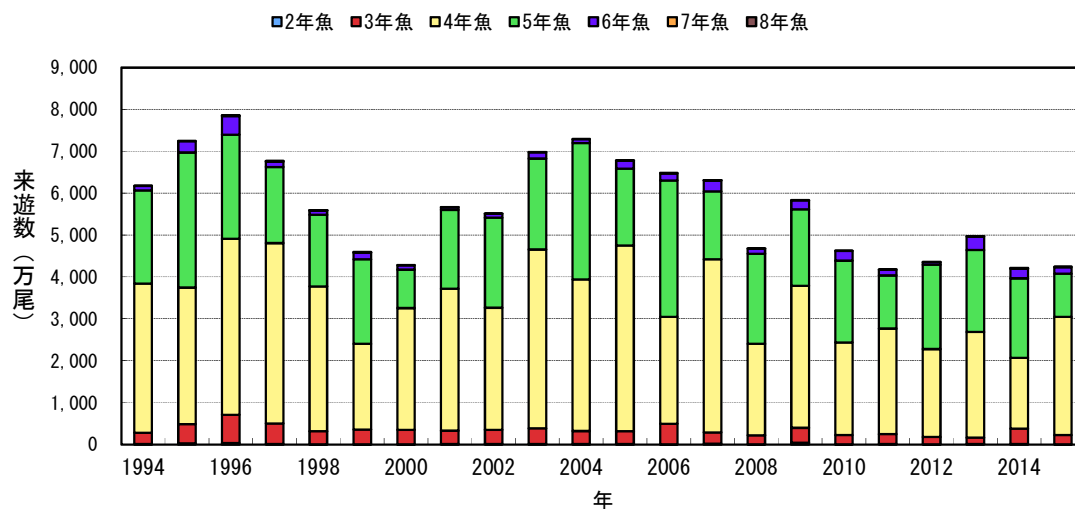


図 1. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国).

(北海道)

4年魚(2011年級)が全体の58%と最も多く、次に5年魚(2010年級)が22%を占めています。4年魚は前年同期の173%と前年を上回りましたが、5年魚は前年同期の58%あまりと減少しました。1994年以降の平均値との比較では、それぞれ95%と53%となっており、5年魚が過去平均の半分ほどと少なく、1994年以降では2番目に低い水準です。また、3年魚(2012年級)も前年同期60%、1994年以降の平均の73%と、前年および過去を下回っています(図2)。

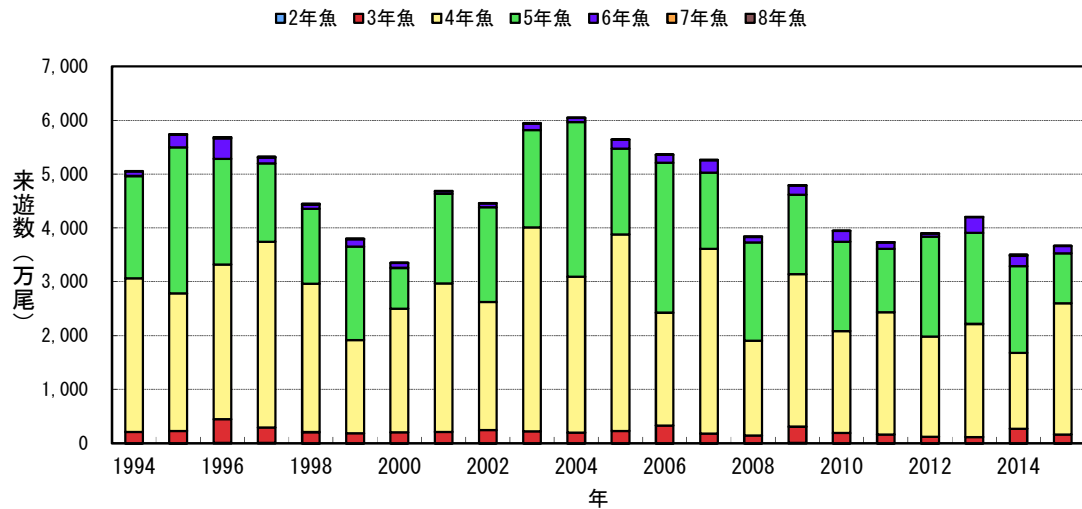


図2. 11月末時点のサケ年齢別来遊数(北海道).

年級群(生まれ年)ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2011年級は、4年魚までの来遊数(2~4年魚の来遊数)で比べた場合、近年(1992年級以降)の平均の98%と平均的水準です(図3)。一方5年魚である2010年級は、5年魚までの来遊数(2~5年魚の来遊数)でみた場合、1992年級以降で最も少なくなっています。

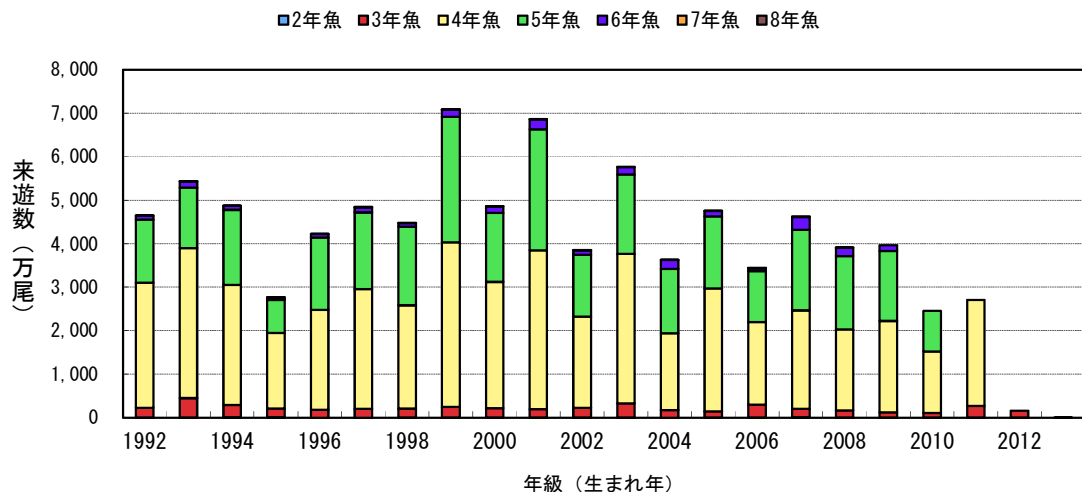


図3. 11月末時点のサケ年級群(生まれ年)別来遊数(北海道).

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期の181%ですが、近年（1994年以降）の平均値と比べると84%あまりと近年の平均的水準よりも少ない状況です。5年魚は前年同期の57%、近年の平均値の47%と少なく、1994年以降で2番目に低い水準となっています（図4）。一方、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）の4年魚は近年の平均値の111%と良好な回帰ですが、5年魚は同平均値の59%あまりとなっています（図5）。また11月末における3年魚は、日本海側で近年の平均値の75%、太平洋側で同72%となっており、ともに近年の平均よりも少ない状況です。

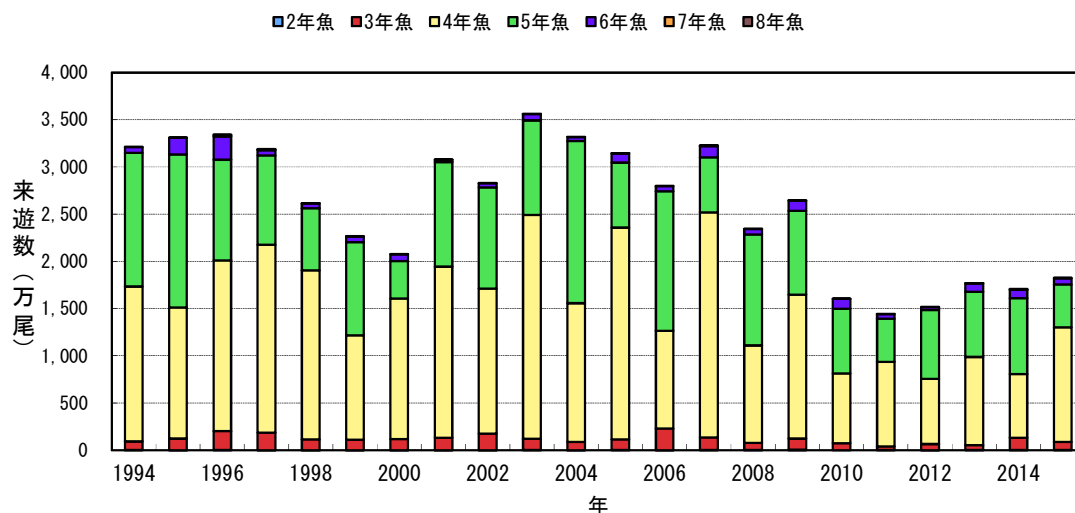


図4. 11月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

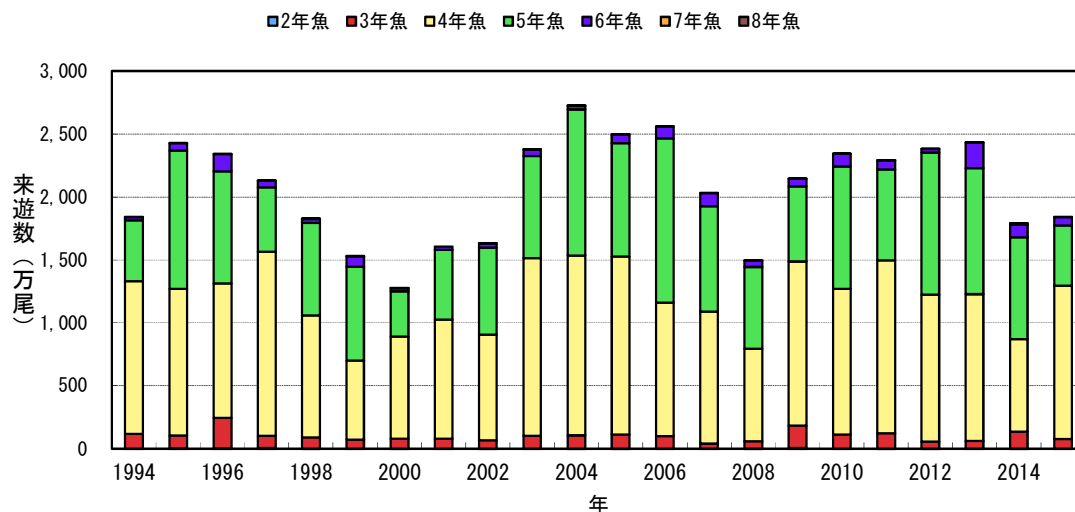


図5. 11月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

(本州)

本州太平洋側では、4年魚（2011年級）が全体の67%を占めて最も多く、5年魚（2010年級）が19%で2番目に多くなっています。4年魚は前年同期134%、平年同期56%であり、前年よりは多いですが1994年以降の平均値と比べると少ない状態です（図6）。5年魚は、前年同期31%、平年同期29%とともに低水準で、1994年以降の5年魚の来遊尾数としては2番目に少なくなっています。3年魚（2012年級）は、前年同期58%、平年同期40%と現時点では1994年以降で4番目に低い水準です。なお、本年の5年魚である2010年級は、東日本大震災で被災した年級に相当し、それよりも若い年級（2011年級以降）では、震災の影響で本州太平洋側からのサケ放流計画数自体が過去の平均的水準よりも少なくなっています。詳しくは北海道区水産研究所ホームページの全国人工ふ化放流計画（URL：<http://salmon.fra.affrc.go.jp/zousyoku/plan/plan.htm>）を参照ください。

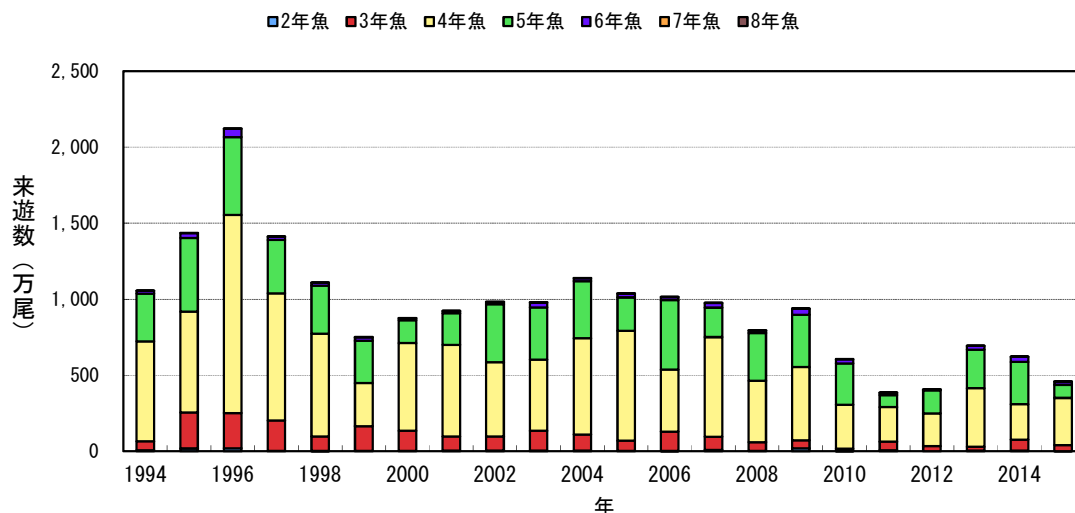


図6. 11月末時点のサケ年齢別来遊数（本州太平洋）.

本州日本海では、4年魚（2011年級）が全体の66%と最も多く、次に3年魚（2012年級）が17%あまりを占めて、5年魚（2010年級）の15%よりも多くなっています（図7）。4年魚は前年同期154%、平年同期181%と好調で、1994年以降では3番目の多さになっています。3年魚は前年同期60%ですが、平年同期137%と過去の平均よりも多く出現しています。5年魚も前年同期165%、平年同期144%と好調で、3年魚及び5年魚ともに、1994年以降の比較ではそれぞれ5番目に多い来遊数となっています。このように、本州日本海では主群の4年魚に加えて、3年魚及び5年魚の来遊数も良好な状態です。

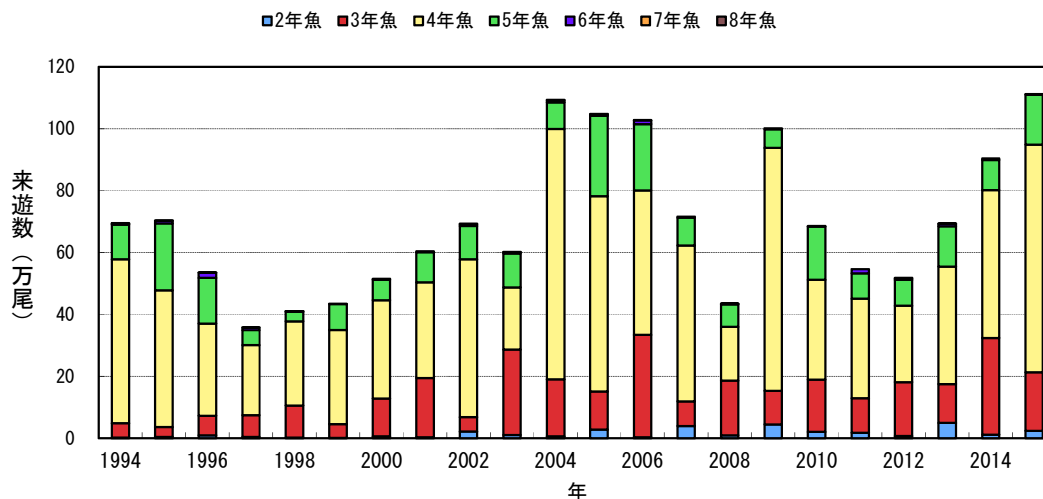


図7. 11月末時点のサケ年齢別来遊数（本州日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における 11 月 30 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は 3.43kg であり、これは前年同期の 98%に相当します。平成元(1989)年～平成 26(2014)年の同時期（11 月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは近年では平成 21（2009）年～平成 22（2010）年及び平成 26（2014）年に近い水準となっています（図 8）。

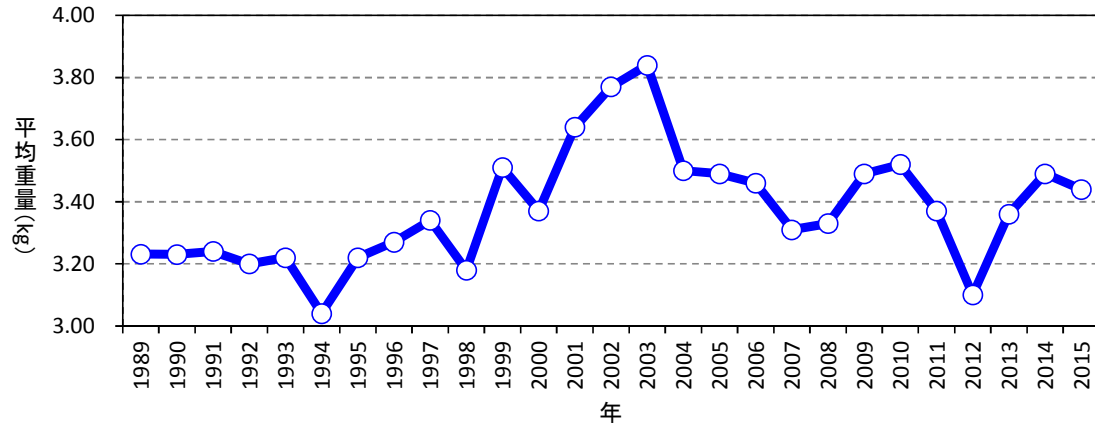


図 8. 11 月末時点のサケ平均重量（北海道）.